(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3142447号
(U3142447)
(45)発行日　平成20年6月12日(2008.6.12)　(24)登録日　平成20年5月21日(2008.5.21)

(51)Int.Cl.		F I		
A63G 9/00	(2006.01)	A63G	9/00	
A63B 17/00	(2006.01)	A63B	17/00	Z
F16G 13/12	(2006.01)	F16G	13/12	C

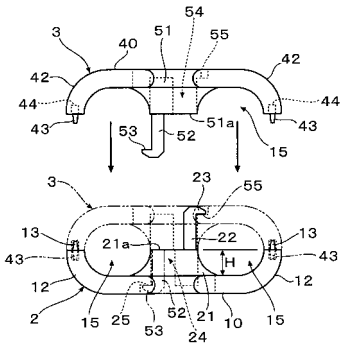
評価書の請求 未請求　請求項の数 2　ＯＬ　（全 6 頁）

(21)出願番号　実願2008-2018(U2008-2018)
(22)出願日　平成20年4月2日(2008.4.2)

(73)実用新案権者　599060858
株式会社フタバ
栃木県下都賀郡野木町野渡１６６－３
(73)実用新案権者　000136583
株式会社フレックス
東京都台東区浅草橋１－１－１５
(74)代理人　100083507
弁理士　田中　二郎
(72)考案者　坂　　多美男
栃木県下都賀郡野木町野渡１６６－３
(72)考案者　上川　　洋
東京都台東区浅草橋１－１－１５　株式会社フレックス内

(54)【考案の名称】遊具用チェーンの危険防止用保護カバー

(57)【要約】　（修正有）
【課題】チェーンに取り付けやすく、安全で長き使用に耐える遊具用チェーンの危険防止用保護カバーを提供する。
【解決手段】長方形の基板１０の中央部に設けた当接部２１と、この当接部２１の端部に立設した固定部２２と、前記固定部２２の側方に穿設した、他の基板４０の固定部５２が挿入可能な孔部２４と、前記基板１０の両端部を当接部側に湾曲して構成したチェーンの収容部１５と、基板１０の両端に構成した突起部１３及び凹部と、からなるカバー本体２を構成し、前記構成の２個のカバー本体を、チェーンの収容部１５にチェーンを収容して互いに嵌合してなる遊具用チェーンの危険防止用保護カバー。
【選択図】図３



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
基板の中央部に設けた当接部と、基板を固定する固定部と、前記固定部の側方の基板に穿設した他の基板の固定部が挿入可能な孔部と、前記基板の両端部を当接部側に湾曲して構成したチェーンの収容部と、基板の両端に構成した連結部とからなるカバー本体を構成し、
前記２個のカバー本体を、チェーンの収容部にチェーンを収容して互いに連結固定してなる遊具用チェーンの危険防止用保護カバー。
【請求項２】
方形の基板の中央部に設けた所定の高さの当接部と、この当接部の端部に立設し先端に固定片を突設した固定部と、前記固定部の側方の基板に穿設した他の基板の固定部が挿入可能な孔部と、前記孔部の開口部分に構成した前記固定片が係合する係合部と、前記基板の両端部を当接部側に一定の曲率で湾曲して構成したチェーンの収容部と、基板の両端に構成した突起部及び凹部と、基板の上端と下端の中央部分に構成したチェーンの退避部とからなるカバー本体を構成し、
前記２個のカバー本体を、チェーンの収容部にチェーンを収容して互いに連結固定した遊具用チェーンの危険防止用保護カバー。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、ブランコ、ジャングルジムなどに使用されている遊具用チェーンの危険防止用保護カバーに関するものである。
【背景技術】
【０００２】
子供の遊具、例えばブランコやジャングルジムなどにはチェーンが使用されている。これらのチェーンは多数の金属製リングを繋げたものであるから、子供がリングの間に指を挟むおそれがあり危険性が指摘されていると共に、手で握った際に冷たく感じるという問題点があった。
【０００３】
上記のような問題点を克服するために、従来ではチェーンを厚手の筒状のビニールで被覆して使用することもあった。しかしこの方法では、既存の遊具用チェーンに後から取り付けるのは困難であり、しかもチェーンがビニールで固定されてチェーンの動きが滑らかでなくなると共に、使用中にチェーンの動きに伴ってビニールが破れてくることもあった。
【考案の開示】
【考案が解決しようとする課題】
【０００４】
本考案は上記の点に鑑みなされたものであり、チェーンに簡単に取り付けることができ、使用中も安全で長き使用に耐える遊具用チェーンの危険防止用保護カバーを提供するものである。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
本考案の要旨とするところは、基板の中央部に設けた当接部と、基板を固定する固定部と、前記固定部の側方の基板に穿設した他の基板の固定部が挿入可能な孔部と、前記基板の両端部を当接部側に湾曲して構成したチェーンの収容部と、基板の両端に構成した連結部とからなるカバー本体を構成し、前記２個のカバー本体を、チェーンの収容部にチェーンを収容して互いに連結固定してなる遊具用チェーンの危険防止用保護カバーである。
【０００６】
また本考案の要旨とするところは、方形の基板の中央部に設けた所定の高さの当接部と、この当接部の端部に立設し先端に固定片を突設した固定部と、前記固定部の側方の基板

に穿設した他の基板の固定部が挿入可能な孔部と、前記孔部の開口部分に構成した前記固定片が係合する係合部と、前記基板の両端部を当接部側に一定の曲率で湾曲して構成したチェーンの収容部と、基板の両端に構成した突起部及び凹部と、基板の上端と下端の中央部分に構成したチェーンの退避部とからなるカバー本体を構成し、前記２個のカバー本体を、チェーンの収容部にチェーンを収容して互いに連結固定した遊具用チェーンの危険防止用保護カバーである。

【考案の効果】

【０００７】

本考案は上記の如き構成であるため、新たに設置するチェーンはもとより既に設置されているチェーンにも容易に取り付けることができ、かつ外れるおそれもなく長き使用に耐えるものであり、子供が遊具を安全にかつ快適に使用することができるという効果を奏する。

【０００８】

また、前記基板の上端と下端の中央部分にチェーンの退避部を構成した場合には、大型のチェーンと小型のチェーンの両方に適応でき、チェーンの大きさに左右されず取り付けることができるのである。

【考案を実施するための最良の形態】

【０００９】

本考案を実施するための最良の形態は、長方形の基板の中央部に所定の高さの当接部を設ける。この当接部の端部に基板を固定するための固定部を立設すると共に、この固定部の先端には固定片を外側に向かって突設する。

また前記固定部の側方には、対となる他の基板の固定部が挿入可能な長孔を穿設し、この長孔の基板表面の開口部分に前記固定片が係合する係合部を構成する。

一方、前記基板の両端部を当接部側に一定の曲率で湾曲してチェーンの収容部を構成すると共に、基板の両端には突起部及び凹部からなる連結部をそれぞれ構成することにより、カバー本体を構成する。

このカバー本体と同形の他のカバー本体を構成して、この２個のカバー本体のそれぞれのチェーンの収容部にチェーンを収容して互いに嵌合固定した遊具用チェーンの危険防止用保護カバーである。

【００１０】

以下、本考案の第１実施形態を図に基づいて説明する。

図１は第１実施形態の分解斜視図、図２はカバー本体の正面図、図３は同組み立て平面説明図、図４は同使用態様を示す斜視図及び図５はチェーンへの取り付け状態を示す説明図である。

【００１１】

本実施形態は図示のように、長方形の基板１０の中央部に所定の高さＨを有する側面視略台形状の当接部２１を設ける。この高さＨは、端部１２，１２の先端の高さと同一である。

前記当接部２１の一側端部に固定部２２を立設する。この固定部２２の先端には基板１０の外側（図２中右側）に向かって固定片２３を突設する。また前記当接部２１の固定片２３の反対側には、基板１０と連結する他のカバー本体３の固定部５２が挿入可能な長孔２４を穿設し、この長孔２４の基板側の開口部分に前記固定部５２の固定片５３が係合するための係合部である段部２５が構成してある。

【００１２】

前記基板１０の両方の端部１２を内側（当接部側）に湾曲してチェーンの収容部１５を構成すると共に、端部１２の端面にはそれぞれ突起部１３と凹部１４を構成して連結部とする。連結時には前記凹部１４には他方の基板４０の突起部４３が挿入されるのである。連結部はこの構成に限らず他の形状の突起部と凹部を構成を採用することもでき、さらには強度上問題なければ、平滑面に接着剤を塗布する等の構成でも良い。

【００１３】

なお、基板１０の上端と下端の中央に設けたチェーンの退避部１１は、上下のチェーン３１，３１の下端と上端との干渉を避けるためのものである。

上記のように構成したカバー本体２と同形のカバー本体３を構成する。

【００１４】

次に、本実施形態の作用について説明する。

まず、前記のカバー本体２とカバー本体３の一方を１８０度回転して、夫々のチェーンの収容部１５，１５・・にチェーン３１を収容し、カバー本体２の固定部２２を他のカバー本体３の長孔５４に挿入し外側に開くようにして先端の固定片２３を段部５５に係合する。

同時にカバー本体３の固定部５２をカバー本体２の長孔２４に挿入し、外側に開くようにして先端の固定片５３を段部２５に係合する。

このように固定部５２、２２は外側に開くように長孔２４、５４に押し付けられているため、固定片２３、５３は段部５５、２５より外れるおそれはない。

【００１５】

これと同時にカバー本体２の当接部２１の表面２１ａとカバー本体３の当接部５１の表面５１ａは、互いに密着した状態となる。さらにカバー本体２の突起部１３及び凹部１４もそれぞれカバー本体３の凹部４４と突起部４３に挿入されることになり、カバー本体２及びカバー本体３は互いに嵌合して連結固定され、かつ外れるおそれもなくなる。また、この状態でチェーン３１はチェーンの収容部１５，１５にフリーな状態で収容されているから、保護カバー１はチェーン３１に対して自由に移動できる。

【００１６】

上記のように本実施形態によれば、簡易な構造でありながら新規のチェーンは勿論のこと既存のチェーンに対しても迅速かつ確実に取り付けることができ、子供が安全に遊具を使用できると共に長き使用に耐えるという効果を有している。また、カバー本体に色彩を施せば遊具がカラフルになるという効果もある。

【００１７】

また本実施形態では、基板１０の上端と下端にチェーンの退避部１１，１１を設けた。そのため、上記保護カバー１をチェーン３１に取り付けると図５に示すように、チェーンの退避部１１，１１によって上部のチェーン３１ａと下部のチェーン３１ｂとの干渉が避けられる。

同時に基板１０の上端１０ａは上部のチェーン３１ａの下端より上方に位置し、下端１０ｂは下部のチェーン３１ｂの上端より下方に位置するため、基板１０はチェーン３１の広い面積を覆うことができ、かつ間隙を少なくすることができるため安全となるのである。

また、大型のチェーンと小型のチェーンの両方に適応でき、チェーンの大きさに左右されず取り付けることができるのである。

【００１８】

一方、本考案の他の実施形態は図５に示すものであり、チェーンの退避部を設けていないため、基板６０の上端６０ａと下端６０ｂは水平であるため構成も簡単であり制作も容易である。この実施形態では上下のチェーン３１ａ、３１ｂとの干渉を考慮する必要のない小型の保護カバーとして利用できる。

【図面の簡単な説明】

【００１９】

【図１】本考案の第１実施形態の分解斜視図

【図２】本考案の第１実施形態のカバー本体の正面図

【図３】本考案の第１実施形態の組み立て平面説明図

【図４】本考案の第１実施形態の使用態様を示す斜視図

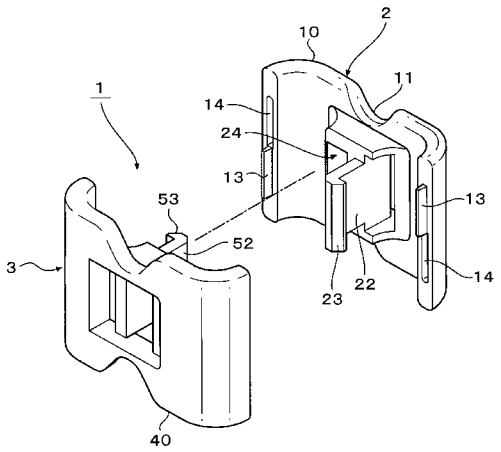
【図５】本考案のチェーンへの取り付け状態を示す説明図

【符号の説明】

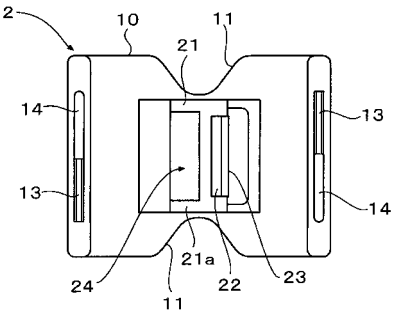
【００２０】

１　遊具用チェーンの危険防止用保護カバー
２　カバー本体
３　カバー本体
１０　基板
１１　チェーンの退避部
１２　端部
１３　突起部
１４　凹部
１５　チェーンの収容部
２１　当接部
２２　固定部
２３　固定片
２４　孔部（長孔）
２５　係合部（段部）
３１　チェーン
４０　基板
５２　固定部
５３　固定片
５５　係合部（段部）

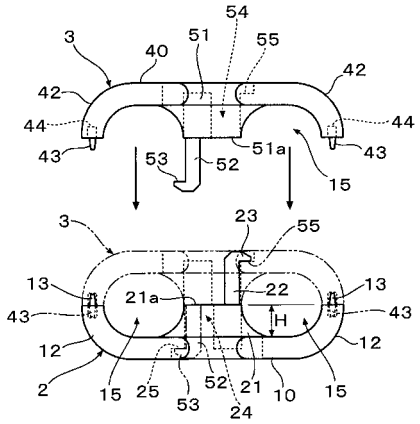
【図１】



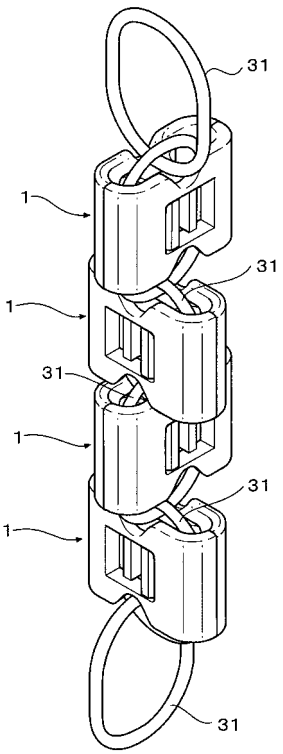
【図２】



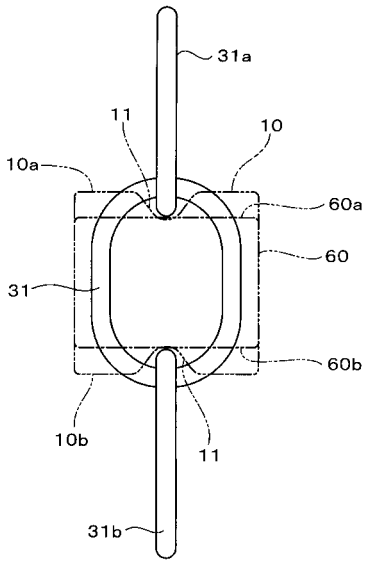
【図３】


54
3
40
51
55
42
42
44
44
43
43
53
52
51a
15
3
23
55
13
21a
22
13
43
H
43
12
12
2
15
25
53
52
21
24
10
15

【図４】


31
1
31
1
31
1
31
1
31

【図５】


31a
11
10
10a
60a
60
31
60b
10b
11
31b